

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 10 日

仕事の内容	学校プール指導補助員配置事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業 11	教育指導管理事務費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	小学生及び中学生の児童生徒					→ 児童・生徒数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 教員による水泳指導を行う際に、配慮を要する児童生徒の事故を防止するとともに、水泳が苦手な児童生徒の指導を行う。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
	→ 水泳対象となった児童・生徒数								
③ そのために何をしましたか。 小・中学校では6~9月の水泳授業及び夏季休業中に、教員による水泳指導において指導補助を行う要員(臨時職員)を配置している。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
→ 水泳指導の実施時間									

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	6,640	6,609	6,571		
	成果指標	②の数値	人	6,640	6,609	6,571		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値	時間	1,290	1,138	621			

3 経費	事業費		円	1,263,710	1,115,240	621,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,263,710	1,115,240	621,000	
		特定財源	円		0		
	(うち受益者負担)		円		0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.01	0.01	0.01	
		所要人数(再任用)	人				
事業費+人件費		円	1,349,710	1,201,240	705,000		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	この事業の開始時期は不明だが平成20年度から、これまで夏季休業中の学校プール指導(庶務課:現学校教育課)を指導室へ移管し、事務事業を統合した。学校プール指導補助員の確保、事務処理の効率化が図られた。	
開始当初と比較し、状況の変化はありますか。		

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	

仕 事 の 内 容	学校プール指導補助員配置事業					
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名	岡田 博史

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	<table border="1"> <tr> <td>取り組みは無い</td> <td>取組手法</td> <td>【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )</td> </tr> </table>	取り組みは無い	取組手法
取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 適正な人員配置を継続する。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 水泳指導補助員の配置を適正にしながら、本来の目的である事故防止、教員の負担軽減等を図る必要がある。		
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成 果	成果を維持する。	経 費	仕事の経費は維持する。